



Information
2025-2026
学校案内



あなたを満足させるものが
ここにある。

Komatsu High School

石川県立小松高等学校





知的好奇心を満たす考えさせる授業

教育目標

自主自律、明朗誠実な生活態度を養う。

個性を伸ばし、正しく豊かな人間関係を培う。

知性を高め、情操を陶冶し、文化創造の意欲と資質を培う。

恵まれた教育環境と「スーパーサイエンスハイスクール」(H18指定 4期目)「いわねニュースーパーハイスクール」(H24指定)の研究指定を活かし、高い学力と豊かな人間性を身につけ、国際社会に通用する人材育成を目指しています。

教育課程

■ 1週間の授業時間数 (令和7年度)

		05										
		0	5	10	15	20	25	30	34			
1 年 生	普通科	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	芸術	英語	家庭	自然と科学	総合	
	単位数	5	4	6	4	3	2	5	2	2	1	
	理数科	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	芸術	英語	家庭	自然と科学	総合	
	単位数	4	4	6	4	3	2	5	2	3	1	
2 年 生	人文科学	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	英語	芸術	人文科学	総合		
	単位数	6	6	6	2	3	7	1	2	1		
	文系	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	英語	芸術	自然と科学	総合		
	単位数	6	6	6	2	4	7	1	1	1		
	理系	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	英語	芸術	自然と科学	総合		
	単位数	4	2	7	7	4	7	1	1	1		
	理数科	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	英語	芸術	自然と科学	総合		
	単位数	4	2	7	8	3	6	1	2	1		
3 年 生	人文科学	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	英語	人文科学	総合			
	単位数	6	7	6	4	3	6	1	1			
	文系	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	英語	自然と科学	総合			
	単位数	6	7	5	4	3	7	1	1			
	理系	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	英語	自然と科学	総合			
	単位数	5	3	7	8	3	6	1	1			
	理数科	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	英語	自然と科学	総合			
	単位数	5	3	7	8	3	6	1	1			

教科「自然と科学」



本校では、普通科においても理数科と同じように、思考力、探究力、人間力などを向上させることを目的とした特別な授業を行っています。

学校設定科目「探究基礎」について

教科「自然と科学」のうち、1年生では「探究基礎(普通科のみ)」「プレゼンテーション&ディスカッション」「課題探究(理数科のみ)」など本校独自の科目を実施しています。このうち「探究基礎」は、探究活動の土台となる論理的思考力や課題発見力を身につけることを目的とします。前半は、データサイエンス講座でデータの収集・整理・分析に関するスキルを身につけ、その後、ディベート学習によって論理的思考力を養います。後半はグループに分かれて基礎課題研究を行い、探究スキルを育成していきます。

習熟度別授業



すべての生徒にとって学習効果が上がり、満足のゆく授業となるように多くの科目で習熟度別授業を取り入れています。

習熟度別授業 について (生徒の声)

「習熟度別授業では、自分のレベルに合ったコースで学習できるので、授業の内容がより理解できます。基礎のクラスでは、基本からいねいにやってくれるので、基礎的な知識の定着がしっかりとできます。また、発展のクラスでは、レベルの高い問題に挑戦することでよりいっそう応用力をつけることができます。どちらで学んでも、力がつくし、楽しいと思います。」



夢の実現に向けて主体的に考え学び続ける

オリエンテーション1年(4月)



高校に入ってから学習の仕方や生活についての話を聞きます。

進学説明会



大学教員や進学関係者が来校され、進路についての説明を受けます。

キャリア行事



地元で活躍する卒業生の方との対話を通して、自己のあり方や生き方を考えます。

どりかむセミナー



現役合格者から受験勉強について話をきいたり、励ましのメッセージをもらいます。

進学状況[主な大学別合格者数] (過年度生含む)

大学名 年度	国公立大学																私立大学				合計
	北海道大学	東北大学	東京大学	名古屋大学	京都大学	大阪大学	九州大学	一橋大学	東京科学大学	神戸大学	金沢大学	富山大学	福井大学	その他国公立大学	国公立大学計	国公立大医大	早稲田大学	慶応義塾大学	その他私立大学	私立大学計	
令和7年度	8	4	1	4	3	17	3	2	2	8	64	18	11	82	227	8	3	3	547	553	780
令和6年度	4	5	2	9	4	11	3	1	1	7	75	18	9	78	227	3	11	7	487	505	732
令和5年度	11	9	5	7	4	5	4	2	4	5	61	14	14	98	243	6	3	7	625	636	878
令和4年度	12	8	3	8	1	11	4	2	1	6	56	23	4	70	209	5	2	7	532	541	750
令和3年度	8	6	3	4	3	14	3	0	3	5	54	26	8	93	230	7	4	4	601	609	839

卒業生の声

東京大学
(文科I類)

北出 亜美 (令和6年度卒業生)

皆さんこんにちは。令和6年度卒業生の北出亜美です。小松高校には志高い良き友が集まり、競い合いながら勉強に励む一方で、校是である「文武両道」「自主自律」の通り、仲間と協力しながら主体的に部活動に取り組むことができます。勉強と部活動の両立は簡単ではないですが、やりがいあるものです。先生はユニークな方ばかりで授業が楽しく、勉強や進路については驚くほど生徒のことを考えてくださいます。行事では、校内レガッタや創立記念祭を通して小松高校ならではの経験ができます。皆さんの中にはマラソン大会が気にかかる方もいるかもしれませんが、少し頑張れば大会当日は午後が休みなので幸せです。また、私が所属していた普通科人文科学コースでは関東ヒューマンセミナーや台湾研修などに参加し、進路選択や自身の成長に活かすことができます。なにより楽しいです。

何事にも全力で取り組む小松高校での充実した生活を、ぜひ皆さんも！

大阪大学
(医学部医学科)

樋口 瑛大 (令和6年度卒業生)

こんにちは。令和6年度卒業生の樋口瑛大です。小松高校には、勉強や部活動、行事に全力で取り組む生徒がたくさんいます。これから入学する皆さんにも、ぜひいろいろなことに挑戦し、たくさんの経験を積んでほしいと思います。失敗を恐れず、まずはやってみることが大切です。高校生活では、進路など将来に関わる大切な選択を迫られる場面もあります。迷うことがあれば、友人や先輩、先生、家族に相談してみてください。きっと親身になって支えてくれるはずです。3年間はあっという間に過ぎてしまいます。だからこそ、自分が夢中になれることを見つけ、真剣に取り組んでみてください。結果だけでなく、その過程で得た学びや仲間との時間が、かけがえのない宝物になります。また、学校生活を通じて築いた人とのつながりは、卒業後も続く大切な財産です。皆さんの高校生活が、笑顔と成長に満ちたものになることを心から願っています。



世界にはばたく人材の育成をめざして

SSH

スーパーサイエンスハイスクール「理数科」(文部科学省指定)

小松高校は令和3年度からスーパーサイエンスハイスクールⅣ期目の指定を受け、国際的に活躍できる科学技術系人材の育成を目指しています。

理数科 独自の授業 (学校設定科目)

★課題探究Ⅰ (1年生)

「物理」「化学」の基礎的な知識・実験技能を学びます。また、ものづくり学習への取り組みを通じて総合的な探究スキルを身に付けます。後半からは課題研究のテーマ設定を行い、研究を開始します。

★課題探究Ⅱ (2年生)

少人数に分かれてグループごとに課題研究を行います。また研究の成果を発表します。また、韓国大田科学高校との科学交流や共同研究を行うために英語で研究を発表します。

★課題探究Ⅲ (3年生)

数学と物理学、化学と生物学や環境問題などの領域融合型の学習を行い、大学への学びにつなげます。

正答のない問題に粘り強く取り組み、解決することができる探究力を持った人材の育成



野外実習(生物・地学)



[1年生]夏、ウニを人工受精させ、発生の過程を観察します。また、地質調査や化石採集などの地学実習を行います。

生徒の感想

ウニ胚の顕微鏡観察を何回も重ねること、研究の楽しさがわかりました。

関東サイエンスツアー



[1年生]秋に1泊2日で東京大学や東京科学大学(旧 東工大)の研究室や理化学研究所などの研究所で研修します。

生徒の感想

最先端の研究を行っている人から教えていただき、研究への意欲が高まった。

大学実験セミナー



[2年生]夏に2日間、大学で最先端の機器を使用し、ものづくり実習をします。結果をグループごとに英語で発表します。

生徒の感想

並段はできないようなことを考えながらするという作業が新鮮で楽しかった。

国際科学交流と共同研究



[2年生]韓国大田科学高校と共同研究を行い、韓国を訪問し、英語で研究発表を行います。

生徒の感想

太田科学高校の生徒は英語が上手で理系の知識も優れており刺激を受けた。

NSH

いしかわニュースーパーハイスクール「人文科学コース」

★学力の伸長

多段階の授業構成
少人数、習熟度別授業
英語力・数学力強化

★地域との連携

県内企業との連携
研究機関との連携

★探究力の育成

人文科学課題研究
関東ヒューマンセミナー
海外交流研修

グローバル社会で活躍する人材の育成

★「人文科学コース」とは

平成24年度に石川県より「いしかわニュースーパーハイスクール」の指定を受け、人文科学系・社会科学系分野の興味・関心を高め、幅広い教養を身につけた、国際社会や地域社会で活躍するリーダーの育成を目指します。

★特色あるカリキュラム

学校設定科目「人文科学課題研究」を設定し、地域との連携をしながら、確かな学力を身につけるとともに、思考力や探究力、表現力を育成します。

★2年時からのコース選択

1年時は普通科共通クラスで基礎・基本の定着を図り、一人ひとりの適性や能力を見極めてコースを選び、2年時より実施します。

関東ヒューマンセミナー



日本の政治・経済の中心である東京に行き、グローバル企業や国家機関へ訪問します(写真は、国会議事堂)

海外交流研修



台南市の国立新営高級中学を訪問して、英語で課題研究を発表し交流します。

人文科学課題研究Ⅰ(2年)



班ごとに決めたテーマについて1年間研究を行い、校内や県の発表会で発表します。

人文科学課題研究Ⅱ英語発表会(3年)



「人文科学課題研究Ⅰ」で行った研究を、ALTの先生方に向けて英語で説明、質疑応答します。

Club Activities

伝統に裏づけられた様々な部活動

部活動加入率は90%以上。多くの生徒が部活動に加入し、文武両道の精神を活かし、勉学と両立を図りつつ、充実した学校生活を送っています。



Sports

運動部



運動部

- 陸上
- 野球
- サッカー
- ラグビー
- バスケットボール
- バレーボール
- ハンドボール
- バドミントン
- 卓球
- テニス
- ソフトテニス
- 水泳

文化部

- 吹奏楽
- 放送
- ESS
- 茶道
- 同好会
- 天文・数学
- 華道
- 理化学
- 生物
- 演劇
- 文芸
- JRC
- 美術
- かるた

Culture

文化部



令和6年度の主な成績

部活動	大会名・成績
陸上	【北信越高等学校総合体育大会】男子400m 出場 女子400m 出場 800m 出場 400mH 出場 4x400mR 出場 【北信越高等学校新人体育大会】女子800m 出場 3000m 第7位 400mH 出場 4x400mR 出場
水泳	【北信越高等学校駅伝競走大会】女子 出場 【北信越高等学校総合体育大会】男子200m自由形出場 400m自由形出場
弓道	【北信越高等学校体育大会】団体男子の部 出場 個人男子の部 出場
バドミントン	【北信越高等学校総合体育大会】女子団体 出場
ソフトテニス	【北信越高等学校体育大会】男子個人戦 出場 【北信越高等学校ソフトテニス選抜インドア大会】男子個人戦 出場 女子個人戦 出場
ラグビー	【北信越高等学校総合体育大会】出場
ハンドボール	【北信越高等学校総合体育大会】男子 出場
カヌー	【北信越高等学校体育大会】男子K-1 出場 男子K-2 第5位 男子K-4 第3位 女子WC-1 第2位 【全国高等学校カヌー選抜大会】出場
少林寺拳法	【北信越高等学校体育大会少林寺拳法大会】男子単独演武 出場 男子組演武 第5位
理化学	【第48回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門】物理部門 出場
華道	【keno花の甲子園2024】北陸大会 第2位
放送	【NHK杯全国高校放送コンテスト】朗読部門 出場
ESS	【高等学校国際教育研究協議会 英語弁論大会 東海北陸地区予選】英語部門 第2位
かるた	【第46回全国高等学校総合文化祭】出場 【小倉百人一首競技かるた第4回全国高等学校選手権大会】〇級 優勝・第3位 【第34回北信越高等学校かるた選手権大会】出場
天文・数学	【第48回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門】地学部門 出場

学校生活を彩る特色ある魅力的な数々の行事

遠足

4月の新しいクラスで
親睦・融和を図り、
仲間意識を育てます。



校内レガッタ

小松高校ならではの、
明治時代から続く伝統行事で、
毎年7月に行われます。



体育祭

3年生を中心に生徒たちが
自ら企画・立案し、
各団で競い合います。



球技大会

3月(1,2年)に行われます。
クラスの団結がいつそう
強くなります。



修学旅行

北海道の雄大な自然の中で、
同級生との絆を深めます。



文化祭

各部・各同好会・各クラスが
それぞれ趣向をこらし、
模擬店やアトラクション・発表
などを行います。



マラソン大会

10月には木場湖のまわりを
秋風をうけながら、
全校生徒が各自の目標に向けて
競い合います。



文化部発表会

各文化部、同好会が
日頃培ってきた成果を
発表します。



沿革概要

明治31年 9月 旧小松町小馬出町小字二ノ丸・町役場一部に設置
明治32年 4月 石川県第四中学校開校
明治32年10月 現在地に移転(10月1日を本校創立記念日とする)
昭和23年 4月 学制改革により石川県立小松高等学校設置
昭和43年 4月 理数科併置
平成11年10月 創立100周年記念式典
平成18年 5月 新校舎落成式
平成24年 4月 人文科学コース設置
令和 元年 7月 創立120周年記念式典

校歌

作詞 北村 専八
作曲 飯田 信夫

一、朝夕仰ぐ白山や

とはに変わらぬふることに

若きいのちをはぐくみて

正義をおのが友となし

いざや励まん学びの道を

あわれらが母校

小松高校

二、春や芳城の花のかげ

夢大空にひろがりて

われら若人自由の子

新しき歴史になひつ

いざや榮かん祖国の誉

あわれらが母校

小松高校

三、三年の春は過ぎやすく

波風あらき世はまてど

汚れにそまぬわが友よ

理想を高く輝かし

いざや作らん明るき未来

あわれらが母校

小松高校



石川県立小松高等学校

〒923-8646 石川県小松市丸内町二ノ丸15
TEL0761-22-3250 FAX0761-22-3251
U R L <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/komafh/>
e-mail komafh@ishikawa-c.ed.jp

石川県立小松高等学校
JR小松駅下車徒歩20分

